

科 目	情報 I	学年・類型	1 年・普通科、国際文理科	単位数	1
教 科 書	「最新情報 I 新訂版」 (実教出版)				
副教材等	「最新情報 I 新訂版 学習ノート」 (実教出版)				
学 習 目 標	1 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 2 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 3 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。				
学 習 心 得	1 学習指示をよく聞き、I C T機器や共用の備品を適切に扱うこと。 2 端末の充電やアップデートなど、実習に用いる機器の適切な管理に努めること。 3 課題の提出期限を厳守すること。				
	単 元	主 な 学 習 活 動			
一 学 期	・ 情報社会と問題解決	・ 情報の特性について学ぶ。 ・ 問題解決の手順や手法について学ぶ。 ・ 知的財産権やサイバー犯罪について学ぶ。 ・ 問題解決について学ぶ。			
二 学 期	・ 情報のデジタル化と コンピュータ	・ アナログとデジタルの違いについて学ぶ。 ・ 数値や画像、音声のデジタル化について学ぶ。 ・ 情報のデータ量とその計算について学ぶ。 ・ コンピュータの構成や動作について学ぶ。 ・ コンピュータにおける演算の仕組みについて学ぶ。			
三 学 期	・ 情報通信ネットワークと セキュリティ	・ 情報通信ネットワークの構成について学ぶ。 ・ I Pアドレスやドメインの仕組みについて学ぶ。 ・ 情報セキュリティ技術やその脅威について学ぶ。 ・ データベースの構成や役割について学ぶ。			

評 価 の 観 点 及 び 内 容		評 価 方 法
知識・技能	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身に付けているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	・ 定期考査 ・ 確認テスト ・ ルーブリック評価
思考・判断・表現	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	・ 定期考査 ・ レポートの内容 ・ ルーブリック評価
主体的に学習に取り組む態度	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。	・ 授業中の活動への取組 ・ 提出物における記述 ・ ルーブリック評価